

『人間と科学』 県立広島大学保健福祉学部誌 投稿規程

学術誌編集委員会

- 1 本学が発行する学術誌の名称は、和文名：『人間と科学』 県立広島大学保健福祉学部誌、英文名：Humanity and Science (Journal of the Faculty of Health and Welfare, Prefectural University of Hiroshima) とし、原則として年1回発行する。
- 2 投稿できる者は、本学部の教職員（非常勤を含む）、共同研究者、および大学院生ならびに学術誌編集委員会（以下「委員会」と表記）の長が依頼した執筆者とし、その他に委員会の長は委員会の議を経て、特別寄稿を上記以外の者に求めることができる。
- 3 投稿原稿は研究倫理に抵触するものであってはならない。研究実施にあたっては、所属する研究機関あるいは施設の倫理委員会等において承認を得ていることが望ましい。症例報告等においては、個人情報保護の観点から匿名性の確保に最大限配慮することが求められる。
- 4 すべての投稿者に、利益相反の有無について投稿原稿の末尾に記載することを求める。
- 5 原稿の種類は、以下のように総説、原著、報告、事例（症例）研究、資料、その他とし、投稿者は投稿時に原稿の種類を明記する。ただし、査読等の結果により、委員会が原稿の種類を変更する場合もある。なお、原稿は未発表のものに限る。
 - 総説：特定の学術的なテーマについて、これまでに発表された内外の研究論文などを総括し、客観的な考察を行った論文。委員会から原稿を依頼することもある。
 - 原著：内容に新規性・独創性・一般性をもち、科学論文として適切に記述が行われた、学術的に価値がある論文。
 - 報告：「原著」には及ばないが、学術上一定の新規性・独創性・一般性を有している論文。
 - 事例（症例）研究：単一あるいは少数の事例（症例）について検討した研究の報告。
 - 資料：特定の分野の研究や実践の推進に役立つ内容を持ち、上記の原稿の種類に該当しないもの。
 - その他：海外報告など上記いずれの区分にも属さないものは、原稿の内容によって委員会が適宜区分を設定して掲載することがある。
- 6 原稿の長さおよび形式は次のとおりとする。
 - (1) A4判の縦置きで全角40字×40字の横書きとする。
 - (2) 英文はダブルスペースとする。
 - (3) 本文、図、表、文献などを含め24,000文字（英文は半角文字で換算し、図表1枚は全角文字400字に換算する）以内、刷り上がりで12ページ以内とする。
- 7 原稿の書き方は次のとおりとする。
 - (1) 投稿用カード（別紙）に必要事項を記載する。
 - (2) 表紙ページ
 - ①本文が和文の場合、和文で次の事項を記載し、その英訳を文献の後ろに独立して置く。英訳は本文が英文の場合の表紙ページの記載に従う。
 - ア 表題
 - イ 著者名（姓と名の間は1文字あける。複数の著者を列記する場合は1文字あける）
 - ウ 所属（著者名の右肩に半角上付きで*¹, *²…を付け、それに対応する所属名を表記する。著者が同一所属の場合は所属名のみ表記する）
 - エ 抄録（400字以内、単一段落）
 - オ キーワード（5語以内）
 - ②本文が英文の場合、英文で次の事項を記載し、その和訳を文献の後ろに独立して置く。和訳は本文が和文の場合の表紙ページの記載に従う。
 - ア 表題（表題の文頭と固有名詞の頭文字のみを大文字とし、それ以外は小文字とする）
 - イ 著者名（著者名は倒置形とし、名は頭文字が大文字、姓は大文字とする。複数の著者を列記する場合は1文字あける。名前のローマ字表記は、ヘボン式を原則とする。例) tu → tsu, si → shi)
 - ウ 所属（著者名の右肩に半角上付きで*¹, *²…を付け、それに対応する所属名を表記する。著者が同一所属の場合は所属名のみ表記する）

エ Abstract (200 語以内, 単一段落)

オ キーワード (5 語以内, 固有名詞以外はすべて小文字とする)

(3) 本文等

①原稿はできるかぎり, 緒言, 目的, 研究対象および研究方法, 結果, 考察, 結論, 文献, 注, 付録の順とする。

②見出しには以下のように番号を付す。

章: 1 2 …

節: 1.1 1.2 …

項: 1.1.1 1.1.2 …

目: 1) 2) …

③図, 表, 写真などは別紙に貼付する。和文の場合, 図 1, 表 1, 写真 1 のように, また英文の場合, Figure 1, Table 1, Photo 1 のように記述し, 正原稿に対してのみ, 投稿代表者の名前を裏面に記入する。これらの挿入場所については正原稿の本文の欄外に朱筆で指定する。

④単位は原則, 国際単位系 (SI) を使用し, 特殊な単位を用いるときは簡単な説明を補記する。

⑤文献, 注などは本文中の該当個所の右肩に, 順に 1) 2) … のように上付きの片括弧の通し番号を付し, 原稿の最後に記載する。同時に複数の文献を引用する場合は「1,2,4)」のように記載し, 3 つ以上連続するものは「1-3)」のように表記する。

⑥文献の記載例を次に示す。

ア 雑誌の場合

著者名: 表題. 雑誌名, 巻数: 頁 - 頁, 発行年 (西暦)

例)

- 1) 金子雅則, 山崎昇: アルコール性心筋症. 最新医学, 45: 2007-2011, 1990
- 2) 植田宏樹, 植田英里ほか: 恐怖性障害と社会恐怖の CNV による精神生理. 臨床脳波, 37: 80-85, 1995
- 3) Kinberg, D. and Farag, M.: A unified account of cognitive impairments following frontal lobe damage: The role of working memory in complex, organized behavior. Journal of Experimental Psychology: General, 122: 411-428, 1993
- 4) Wilkins, A. J., Shallice, T., et al.: Frontal lesions and sustained attention. Neuropsychologia, 25: 359-365, 1987

イ 単行本の場合

著者名: 書名. 発行地, 発行所, 頁 - 頁, 発行年 (西暦)

例)

- 1) 中村隆一, 斎藤宏: 基礎運動学. 東京, 医歯薬出版, 394-409, 1992
- 2) Moryton, R. J. and Phillips, B. M.: Accidents and emergencies in children. Oxford, Oxford University Press, 223-233, 1992

ウ 分担執筆の場合

著者名: 表題. 編集・監修者名, 書名. 発行地, 発行所, 頁 - 頁, 発行年 (西暦)

例)

- 1) 笠松達弘: 子宮頸癌の放射線治療法. 坂元正一, 滝一郎ほか編, 子宮癌と外陰部癌. 東京, 金原出版, 147-159, 1978
- 2) Blank, R. H.: Rationing medicine in the neonatal intensive care unit (NICU). Caplan, A. L., Blank, R. H., et al. eds., Compelled compassion. Totowa, Human Press, 155-183, 1992

エ 訳本の場合

原著者名: 書名; 訳者名, 書名. 発行地, 発行所, 頁 - 頁, 発行年 (西暦)

例)

- 1) Klaus, M. H. and Kennell, J. H.: Parent-infant bonding; 竹内徹, 柏木哲夫ほか訳, 親と子のきずな. 東京, 医学書院, 189-219, 1985

オ 電子文献 (Web ページや Web サイト, 電子ジャーナル等) の場合

著者名: Web ページの題名. Web サイトまたは電子ジャーナルの名称, (媒体表示), 入手先 <URL>, (参照年月日)

例)

- 1) 厚生労働省：平成 18 年版厚生労働白書（本文）. 厚生労働省, (オンライン), 入手先 < <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/06/index.html> >, (参照 2007-5-31)
- 2) Cohen, B., Ziv, K., et al.: MRI detection of transcriptional regulation of gene expression in transgenic mice. Nature Medicine, (online), available from <<http://www.nature.com/nm/journal/v13/n4/full/nm1497.html>>, (accessed 2007-5-31)

カ 著者名の記載については下記のようにする。

和文の場合

1 名のときは姓名, 2 名のときは 2 名の姓名, 3 名以上のときは筆頭および第二執筆者の後に「ほか」を付け, 著者と著者はカンマで区切る。

英文の場合

1 名のときは姓, 名のイニシャル, 2 名のときは姓, 名のイニシャルを「and」で結び, 3 名以上のときは, 筆頭および第二執筆者の姓, 名のイニシャルの後に「et al.」を付け, 著者と著者はカンマで区切る。

キ 引用誌名の省略は欧文雑誌の場合 Periodical Title Abbreviations; Vol.1 by Abbreviation. Gale Research Inc. を典拠に, 和文雑誌は当該誌に記載されている省略形を用いる。

ク 本文が英文の場合, 英語以外の言語で書かれた文献は, 英語の表題がある場合 (例 1) はそれを用い, 英語の表題がない場合 (例 2) は原語の表題をアルファベットで表記したうえで, その英訳を [] 内に記載する。また, 末尾には, 言語名を [] 内に英語で記載する。

例)

- 1) Terao, A., Konishi, M., et al.: Exposure to tobacco smoke in Japanese urban population. Nippon Koshu Eisei Zasshi, 45: 3-14, 1998 [in Japanese]
- 2) Motomura, S.: Rinshou shitsugoshou gaku handobukku [Handbook of clinical aphasiology]. Tokyo, Igaku Shoin, 84-86, 1994 [in Japanese]

⑦句読点は, 「,」「。」とする。

8 投稿原稿の提出は次のとおりとする。

ただし, 投稿規程に従っていないものについては, 受け付けない場合がある。

- (1) 正原稿 1 部, 副原稿 (複写物) 2 部の計 3 部を委員会へ提出する。
- (2) 副原稿の表紙ページ (和文・英文) において, 著者名と所属の項目は削除する。
- (3) 副原稿において, 倫理審査を受けた機関名, 承認番号等は記さない。

9 印刷原稿 (最終原稿) は正原稿 1 部のほか, 同一内容の電子媒体を提出する。

10 投稿原稿の採否と掲載論文の種類は, 2 名以上の論文査読者による査読を経て, 委員会において決定する。なお, 掲載にあたっては原稿の修正を求めることがあり, その場合は指摘された事項に対して回答し, 修正原稿の再提出を行う。

11 採用された論文などの著作権は本学に帰属する。またその原稿は返却しない。

12 校正は原則として初校正を著者が行う。校正の際の加筆・修正・削除は認めない。第二校正以降は委員会が行う。

13 原稿の締め切りは委員会の議によって決定する。

14 別刷りは 30 部を無償で贈呈する。

附則

1 この規程は, 平成 12 年 6 月 23 日から施行する。

2 この規程は, 平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

3 この規程は, 平成 16 年 5 月 11 日から施行する。

4 この規程は, 平成 17 年 5 月 25 日から施行する。

5 この規程は, 平成 19 年 6 月 1 日から施行する。

6 この規程は, 平成 21 年 3 月 5 日から施行する。

7 この規程は, 平成 21 年 12 月 17 日から施行する。

8 この規程は, 平成 22 年 12 月 16 日から施行する。

9 この規程は, 平成 24 年 5 月 23 日から施行する。

- 1 0 この規程は、平成 25 年 5 月 23 日から施行する。
- 1 1 この規程は、平成 26 年 5 月 30 日から施行する。
- 1 2 この規程は、平成 28 年 2 月 29 日から施行する。
- 1 3 この規程は、平成 30 年 4 月 24 日から施行する。
- 1 4 この規程は、令和元年 5 月 7 日から施行する。
- 1 5 この規程は、令和 4 年 6 月 10 日から施行する。